

授業科目名・形態	コミュニケーション技術Ⅰ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	山田 克宏	開講期	1年 前期	単位数 2

【授業の主題】

対人援助において重要なことは、いかに相手と信頼関係を築くことができるかである。他者との意思疎通能力が備わっていないければ、いくら多くの専門知識を身につけたとしても、利用者・家族・他の専門職との信頼関係を築くことは難しい。

本講では、利用者・家族との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

【到達目標】

- 1) 利用者の置かれている状況を理解し、支援関係の構築や意思決定を支援する観点から、介護におけるコミュニケーションの基本的な技術を記述・適用できる。
- 2) 家族の置かれている状況・場面を理解し、家族への支援やパートナーシップを構築する観点から、介護におけるコミュニケーションの基本的な技術を記述・適用できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 介護を必要とする人とのコミュニケーション（意義と目的）
- 第 3回 介護を必要とする人とのコミュニケーション（役割と効果）
- 第 4回 介護における生活支援とコミュニケーション
- 第 5回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：話を聴く技法
- 第 6回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：感情表現を察する技法
- 第 7回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：納得と同意を得る技法
- 第 8回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：質問の技法
- 第 9回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：相談・助言・指導の技法
- 第 10回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：意欲を引き出す技法
- 第 11回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：意向を調整する技法
- 第 12回 複数の利用者がある場面でのコミュニケーションの技法
- 第 13回 その他のコミュニケーション：指示・助言・支持の技法
- 第 14回 その他のコミュニケーション：アイメッセージの技法
- 第 15回 その他のコミュニケーション：アサーションの技法

【授業実施方法】 基本的には講義を中心とし、必要に応じてロールプレイやグループワークを取り入れる。

【授業準備】

- ①受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前に一度は読んでくること」
- ②余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅱ，介護の基本Ⅰ～Ⅵ，介護過程Ⅰ～Ⅴ，人間の理解Ⅰ・Ⅱ，生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ，日常生活支援技術演習Ⅰ～Ⅹ など

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編：コミュニケーション技術（最新版），中央法規出版，2019.

【参考文献】 授業の中で必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

平常点10%，小テスト10%，レポート20%，期末試験（筆記）60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実践現場を意識した予習・復習と授業におけるロールプレイやグループワークによる体験が相乗することで学習効果は何倍にも膨らみます。主体的・積極的に取り組んでください。